



教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子

わにっこり

和邇小だより 令和8年 春休み号
児童数376名 文責 澤村幸夫



祝 令和7年度 卒業証書授与式

大津市立和邇小学校



3月18日(水)に、令和7年度卒業証書授与式を挙行しました。別れを惜しみながら、卒業生69名が本校を巣立ちました。在校生代表である5年生が参列し、卒業生の門出をお祝いしました。6年生は、全校児童のリーダーとしてあらゆる場面で活躍してきました。毎日の学校生活が楽しいものになるように、委員会活動に工夫を凝らしてきました。運動会の集団演技は、見る人の心を動かし、最高のパフォーマンスを披露してくれました。練習時の真剣な眼差し、日が経つにつれて上達していく6年生の姿は自信に満ち溢れていました。

修学旅行では、神戸にある「人と防災未来センター」を訪れ、これまで積み上げてきた防災学習を原点から見つめ直しました。級友と宿泊することの意義を学びました。キッザニア甲子園では、多くの職業体験を行い、「働く」ことの意味を肌で感じ取りました。

卒業式

紙面配布のみ表示



期間限定 3/24~4/30

卒業とは、自分の夢に近づく「始まり」です。これから始まる「まっさらな未来」が待っています。中学校では、これまで以上に自分で考え、自分で決断する機会が多くなります。社会に出る第一歩を踏み出す場所となります。和邇小学校で培った「わにっこ」の合言葉「わたしから考え」「にこにこ元気に生活し」「つづけてがんばり」「こころを合わせる」ことを思い出し、卒業後も実践してってください。みなさんの未来に幸せが多いことを祈っています。

6年生を送る会

3月3日(火)、卒業を目前にした6年生に感謝の気持ちを伝えるため、次期リーダーである5年生が企画し「6年生を送る会」が開催されました。4月から全校児童を引っ張る5年生は、実行委員会を組織し、企画や運営について話し合いました。各学年からは、6年生に楽しんでもらえる内容を考え、準備し、当日はたいへん盛り上がりました。6年生への感謝の気持ちと、これから学校を引き継いでいく決意が感じられる素晴らしい「6年生を送る会」となりました。ダイジェスト版として動画にまとめましたので、ご覧ください。

各学年からは、6年生に楽しんでもらえる内容を考え、準備し、当日はたいへん盛り上がりました。6年生への感謝の気持ちと、これから学校を引き継いでいく決意が感じられる素晴らしい「6年生を送る会」となりました。ダイジェスト版として動画にまとめましたので、ご覧ください。

6年生を送る会

紙面配布のみ表示



期間限定 3/24~4/30



ご支援・ご協力ありがとうございました

時が経つのは早いもので、令和7年度も終わろうとしています。和邇小学校の学校教育目標「和邇を愛し、心豊かに友とつながり、学び合う」を達成すべく、「チーム和邇」として教育方針を共有し、子どもにつけたい力を焦点化しながら、教育活動を実践して参りました。令和8年度も、年度末の学校評価を基にして、「子どもを主役に」さらなる改革をし、教育活動を企画・実践して参ります。保護者の皆様や地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

3学期末、6年生が卒業した翌日からは、5年生を最高学年とした登校班でまとまって登校していました。子どもたちなりに次年度に向けた準備をしてくれているように思います。雨の日も、雪の日も、交差点や横断歩道に立って、子どもたちの登下校の安全を見守ってくださいました多くのスクールガードや地域ボランティアの皆様、ほんとうにありがとうございました。

年度末、子どもたちは、慣れ親しんだ学級の仲間や担任の先生と離れることに不安やさみしさを感じるものですが、一方でこれからの新たな出会いにも期待が膨らむものです。別れと出会いは、人生における大切な節目であり、自分を大きく成長させる機会でもあります。例年のことではありますが、期待や不安に心が揺れる時期ですので、お子さまの不安を少しでも和らげ、期待を膨らませていけるよう、温かな声かけをよろしくお願いいたします。

誇りのバトン



学校では、3学期、大切な「誇り」のバトンが次の学年へと引き継がれました。6年生を送る会への準備、卒業式への参列、朝の校内放送など委員会の運営、そして地域や学校行事、これまで立派に務めてくれた6年生から5年生へ、少しずつバトンが引き継がれました。

卒業した6年生は、これまでの「学校夢づくりプロジェクト」を「地域つながり委員会」として新たにスタートさせ、和邇地域の皆さんとのつながりを大切にしながら、全校児童が楽しく活動できるように工夫してきました。リーダーとしての自覚と誇りを胸に、これから迎える中学校生活に向けて、さらに成長してくれることと思います。一方、その良さを受け継ぐ5年生は、やり方を直接教えてもらい、真剣に話を聞き、次は私たちの番だと意気込む姿が、とても頼もしく感じます。良き「誇り」のバトンを引き継いで、より良い和邇小学校になるよう、教職員一同、心から応援しています。

年度末に、嬉しいニュースがありました。8の字跳びに挑戦した和邇小の「Ring Second」(リング・セカンド)が滋賀県で第1位に輝きました(3分間8の字跳び:812回)。Otsu スーパートライ後も、必死で記録に挑戦し続けていました。本気で夢中になれる姿にとても感動しました。



学校で孵化したアマゴの稚魚(約6cm)
本文との関連はありません。

びわ湖放送

紙面配布のみ表示



期間限定 3/24~4/30

また、3月13日、びわ湖放送「金曜オモロしが」という番組で、先日の Otsu スーパートライの様子が放映されました。和邇小学校の代表として出場した Ring Second が練習時の取材を含め放映されました。見逃し配信として、短い動画にまとめましたのでぜひご視聴ください。

番組の最後には、6年生から在校生に向けて、「誇りのバトン」が引き継がれました。和邇小学校では、すでに新たな挑戦が始まっています。



第13弾 「感性や情緒」

このコーナーは、子育てと子どもの幸せをサポートする情報を提供するニュースレターです。子育てのヒントやこれからの時代に大切にしたい教育の話、健康で幸せな生活に役立つ情報を掲載したいと考えています。未来をたくましく生きる子どもたちにつけてほしい本当の力とはいったい何か、子どもが生涯にわたり幸せに生きていくには、周囲の大人はどんな関わりを大切にしていけば良いのかについて、共に考えていきたいと思ひます。

第13弾は、「感性や情緒」についてです。最近、テレビ番組では「昭和の名曲」などと題して、私自身が子どもの頃によく聴いていた歌が放映され、聴き入ってしまうことが多くなりました。司会者の時代背景の説明とともに映し出される映像には、私の幼い頃の風景が重なり、何とも言えない感情でいっぱいになります。

「この曲を聴くと、あの頃を思い出す」というような、音楽と記憶との結び付きは、誰しも経験していることと思ひます。幼い頃に聴いたアニメの主題歌や運動会や行事で歌った曲、家族旅行の車中で聞いた曲など。こうした音楽は、その時の情景や感情とセットで、子どもの心に刻まれていきます。そして大人になったある時に、ふと耳にした音楽をきっかけに、当時の思い出や温かな感情がよみがえってきて、心をリセットさせてくれます。

こうした感情と結び付いた記憶を育むために大切なのが、子どもの頃の情操教育です。情操教育と聞くと、何か特別なことをしなければ、と考えてしまいがちですが、そうではありません。情操教育とは、子どもの感性や情緒を豊かに育てるための教育で、音楽、美術、自然との触れ合い、読書などがその中心になります。情操教育は、言葉を超えて感情に直接働きかける力をもっていて、子どもたちの心を育てる上でとても重要な役割を果たしています。

校歌を歌う全校集会、図画工作での創作活動、地域の素材に触れる生活科や総合的な学習の時間、図書室で見つけたお気に入りの絵本など、日々の学校生活の中にあるその一つ一つが、子どもの心に「思い出の種」となって残っていきます。大人になった時、歌を聴いたりよく似た景色を見たりして、人のぬくもりや友達との楽しい時間を思い出し、心がほんわり温かくなったり、「また明日から頑張ろう」と気持ちを新たにしたりできるのは、小さい頃の情緒豊かな経験があるからだと思ひます。

小さな子どもたちは、親のお膝で絵本を読んでもらえる時間が大好きです。この時期は、本のお話のもとより、お母さんのリズム、親の温もりを求める時期です。絵本を読み聞かせるときに大切にしたいことは、説明しすぎず、教えすぎず、話の筋を大切に読み聞かせていくことです。絵本を選ぶとき、お話も大切ですが、絵がとても大切です。想像する世界が広がり、子どもの心に自分の思いが広がる絵本との出会いがあれば、たった1冊でも将来への絵本との出会いにつながるかもしれません。この春休み、素敵な絵本との出会いがあることを願っています。(気持ちは分かりますが、タブレットのアニメ動画を見せて終わり、という子育ては、一考の余地ありです。)

私たち大人はつい、目に見える「学力」や「成果」に目を向けがちです。しかし、人生を支えてくれるのは、その「学力」や「成果」の基となる土台です。私たち大人は、子どもの土台づくり、つまり感情や情緒を豊かに育むことに力を注ぐ必要があります。心が疲れたとき、前を向けないときなどに、そっと背中を押してくれるのは、過去の楽しい記憶や心に残った音楽、絵本、何気ない会話なのかもしれません。



学校のチンアナゴ
本文との関連はありません。



学校のディスカス：モザイクミルキーウェイ
本文との関連はありません。